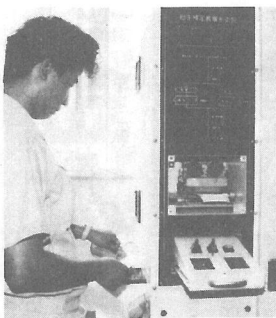
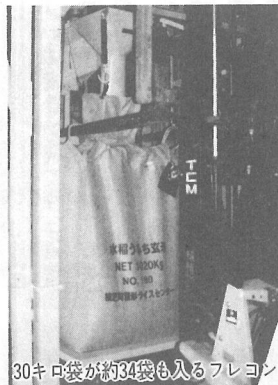


# 農業経営の



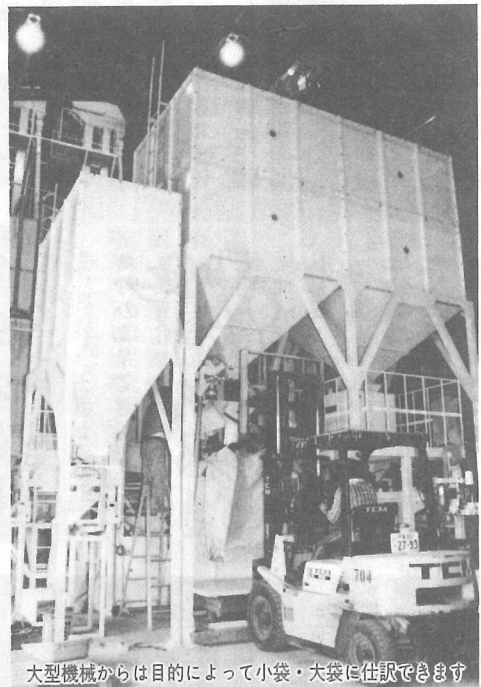
各組合員ごとにサンプルを取り検査を行います

## 自主検査設備



30キ口袋が約34袋も入るフレコン

## 乾燥機・出荷施設



大型機械からは目的によって小袋・大袋に仕訳できます



1トン詰めされた袋はフォークリフトで製品置場に運ばれその後大型トラックで出荷されます

乾燥機は、循環方式で容量15トンものを3基設置してあります。出荷設備は、自動計量包装機、フレコン計量機を配置し、出荷は主に1トン詰めフレコン（出荷用の大型の袋）で行います。これにより包装出荷の大幅な省力化が可能になりました。

## 仕事がかどります

毎年カントリーエレベーター

（穀類等乾燥調整貯蔵施設Ⅱ栗山）を利用しているのですが今年屋形ライスセンターが出来たので加えました。

行程はほとんど同じですが新式の機械が入っているので待ち時間も少なく、仕事がかどりますので助かります。



山本 正夫さん  
（三島）

## トマト栽培が充実

ハウスでトマト栽培をしていますが、稲刈りの時期はトマトに手がまわらないので病気が出て収穫も落ちることがありました。ライスセンターの完成によって、稲作にかかる日数も省けますので助かります。



早川 哲雄さん  
（屋形荒場）